

最初にこの場をお借りしまして、先の台風で、甚大な被害を受けられました皆様に、お見舞いの言葉と、尊い命を失われた方々に哀悼の意を捧げさせていただきます。

皆さん今日は、国際ロータリー第 2620 地区、地区大会が、浜松市長鈴木康友様をはじめ多くのご来賓をお迎えし、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本地区大会の開催にあたり、「クラブが主役の地区大会」のテーマに基づき、安間みち子ガバナー、ならびに地区大会実行委員長 加茂福史様を始め関係者各位のご尽力に深く敬意を表す次第であります。

私は、本地区大会にマーク・ダニエル・マローニー RI 会長とゲイご夫妻の代理として派遣されました、第 2770 地区パストガバナー大塚信郎と妻の真由美でございます。もとより浅学非才の身ではございますが、精一杯役割を務めさせていただきます所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、マーク・マローニー会長より、皆様の地区大会に向けたメッセージビデオが届いておりますので披露いたします。

ビデオよろしく願いいたします

ビデオありがとうございます

ございました

また、マローニー会長より地区大会に向けたお手紙をいただいておりますのでご披露申し上げます。

ロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリー、その他ロータリーの支援者の皆さま。

この度は、2019-20 年度地区大会に謹んで皆さまを歓迎いたします。地区大会は、奉仕のインパクトと会員の経験を向上するためのアイデアについて話し合う機会となり、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを実現する素晴らしい会合となるでしょう。

今年度の地区大会は、ロータリーという組織にとって幸先の良い催しとなります。というのは、2019-20年度は新しいロータリーの戦略計画が導入される年度だからです。会員からのご意見を反映して完成されたこの戦略計画は、急速に変化する世界でより良く奉仕していくために必要な未来の行動計画となります。

戦略計画では、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかかわりを促す」、「適応力を高める」という4つの優先事項が定められています。しかし私にとって、この計画の中核には、「ロータリーを成長させる必要がある」という明確なメッセージがあると思います。

ロータリーの成長とは、人のつながりを生かして世界でも唯一無二の存在としてのロータリーを確立し、そのつながりをさらに強化・多様化していくことです。

では、どうすればそれが可能となるのでしょうか。

その答えのヒントは、クラブと入会候補者のつながりを築く方法を検討し、すべての入会候補者が歓迎されていると感じられるよう、新しいクラブや会員種類の可能性を検討していくことを通じて、見出すことができるでしょう。

しかし、答えを導く最大の要素は、皆さまお一人お一人がどのようにロータリーとのつながりを築くかということだと思います。

皆さまが地区大会を通じて熱意をもってアイデアを交わすことができれば、どれほど素晴らしいものとなるでしょう。

この地区大会が、ロータリーにおける皆さまの未来の行動計画を練る機会となりますことを、私たちは願ってやみません。

末筆となりますが、貴地区大会の多大なるご成功をお祈りいたします。

2019-20年度国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー

さて、**ロータリーのビジョン声明**についてお話申し上げます

ロータリーの新しいビジョン声明は、次のように謳っています

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。

この声明は、ロータリー会員、元会員、ローターアクター、学友、青少年交換学生、ロータリー職員、その他の一般の人びとから得られた意見を基に作られました。

アンケート調査やフォーカスグループ（座談会）を通じて、世界全体で 100 万人を超える人たちに意見を伺いました。

こうしてできたのが、意欲と積極性を引き出し、ロータリーを未来へと導く一つのビジョンです。

このビジョンは 2017 年 6 月に、ロータリー理事会と財団管理委員会によって承認されました。

ビジョン声明が採択されて間もなく、戦略計画委員会はロータリーの新しい行動計画の立案を開始しました。同委員会は、28 カ国 582 名の参加となったフォーカスグループとインタビュー調査を通じて、再びロータリー会員からの意見を伺いました。

2018 年 6 月、新しい行動計画を形作る戦略的優先事項と目的が、理事会と管理委員会によって承認されました。

このように

ポリオ撲滅まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。

より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

そして、国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後 5 年間の活動を方向づける 4 つの優先事項が定められました。

ここで4つの戦略的優先事項の目的について説明いたします

1つ目の「より大きなインパクトをもたらす」、について

- ・ポリオを撲滅し、残された資産 を活用する
- ・ロータリーのプログラムおよび ロータリーが提供する体験に 焦点を当てる
- ・活動成果を挙げ、それを測る 能力を高める

2つ目の「参加者の 基盤を広げる」について

- ・会員基盤と参加者の基盤を 広げ、多様化する
- ・ロータリーへの新しい経路を 創り出す
- ・ロータリーの開放性とアピー ル力を高める
- ・活動成果とブランドに対する 認知を築く

3つ目の「参加者の積極的な かかわりを促す」について

- ・クラブが会員の積極的参加 を促せるよう支援する
- ・価値を提供するため、参加 者中心のアプローチを開発 する
- ・個人的／職業的なつながり を築くための新たな機会を 提供する
- ・リーダーシップ育成および スキル研修の機会を提供する

4つ目の「適応力を高める」について

- ・研究と革新、および進んでリ スクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ・ガバナンス、構造、プロセス を合理化する
- ・意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの新しい戦略計画

□ ロータリーの新しい戦略計画における優先事項において、カギとなるのは会員です。私たちは、インパクトを高め、参加者の基盤を広げ、積極的なかかわりを促し、適応力 を高めることによってロータリーを成長されなければなりません。ロータリー戦略計画 の優先事項を実行するには、さまざまな観点やスキルをもつ多様な人びとからの支援が必要となります。そのためにも、女性、若い世代、学友、退職を間近に控えた人など、多様な人にとって魅力的なロータリーを築いていくことが重要です。

□ 地域社会におけるロータリーへの参加基盤を広げるには、例会やイベントに家族を招待 するとよいでしょう。こうすることで、会員の積極的参加が促され

るほか、戦略計画の 中の 2 つめの目的であるロータリーの開放性と魅力の向上にもつながります。

□ また、新しいビジョンと戦略を実践するにあたり、若い職業人の参加を促すこともできます。クラブ活動の参加者や地元市民が参加しやすい方法は何かを知るために、若い職業人の声を取り入れることができるでしょう。

そうすることで、個人的・職業的なつながりを築く新たな機会をつくり、クラブでの意思決定においてより多様な視点を反映させることができます。

会員増強

・ 2019 年 7 月 1 日における世界全体の会員数は 1,189,466 人、ロータリークラブ数は 35,890 です。2018 年 7 月時点と比べ、会員数は 5,641 の減少、クラブ数は 209 クラブの増加となりました。

・ **ロータリーの最大の資産は、各会員です。**

ロータリーが成長すれば、奉仕を広げ、ロータリーのインパクトを高め、さらなる会員増強へとつなげ、より多くのことを達成できます。会員の経験を充実させることは、国際ロータリーの組織内部における最優先項目です（外部的なロータリーの最優先項目は、引き続きポリオ根絶となります）。

ロータリーの成長に関する強調点には、

国際ロータリー戦略計画の優先事項に沿った、二つの部分から成る戦略が含まれます。一つは、従来型のクラブに対する支援を継続すること。もう一つは、ロータリー入会の資格を有しながら従来型クラブには入会できない、または入会したくないと考える属性グループにアピールできる新しいモデルを模索することです。

これには、より柔軟な新しいクラブの種類と、クラブを土台とせずにロータリーに参加する新しい経路を作ることが含まれます。

新しいロータリークラブやローターアクトクラブによって、参加者の基盤を広げ、より多様な会員を入会へと促し、次世代リーダーの斬新なアイデアや観点を生かすことができます。

従来型のロータリークラブに加え、新しいクラブの種類を導入することによって、より多様な人たちが持続可能な変化を生むために手を取り合って行動する

世界を目指すことができます。このような新しい種類のクラブとして、衛星クラブ、法人会員を含むクラブ、パスポートクラブなどがあります。

国連事務局での会長主催会議

- ・ マローニー会長は今年、ロータリーと国連の人的協力における 75 年間のパートナーシップを祝うことを目的に、世界各所の国連事務局で、会長主催会議を企画しています。
- ・ このパートナーシップの輝かしい一例は、世界的ポリオ根絶活動における国連事務局（WHO とユニセフ）との 30 年以上の協力関係でしょう。
- ・ ロータリーの重点分野は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）を補完・支援するものであることから、ロータリーと国連の人的活動は今日の世界でも重要な活動であると言えます。

次にロータリー財団の現状について、述べさせていただきます。

ゲイリーCK,ホアン ロータリー財団管理委員長は、年次基金は、ロータリーで行われるすべてのことを支えています。皆さんの高い能力への信頼から、私は野心的な 2019-20 年度目標を設定いたしました。

年次基金は、ロータリーで行われるすべてのことを支えています。

そこで本年度は、前年度より 300 万ドル多い 1 億 4000 万ドルの目標額をめざします。これを達成すれば、ロータリークラブは、地元と海外の地域社会に好ましい変化をもたらす人道的プロジェクトを積極的に実施していくことが可能になります。

ポリオのための目標額は 5000 万ドルです。

このお金は、ポリオ撲滅活動の前進を後押しするものです。ご存知かと思いますが、ロータリーがこの目標額を達成できれば、ゲイツ財団から 1 億ドルの上乗せが行われます。そうなれば合わせて 1 億 5000 万ドルとなり、撲滅活動を完遂へと進め、子どもたちとの約束を果たすための大きな力となるでしょう。

ポリオの撲滅は、マラソンレースに例えられます。

今、このマラソンレースのラストスパートに入っており、ゴールラインが視界に入っています。しかし、まだゴールに到達したわけではありません。最大のチャ

レンジはこれからです。私たちは世界の子供たちに約束をしました、この約束があるからこそ、ポリオ症例数は99.9%以上減少しました。本年（9月25日）現在の発症例は82件となっております。これからも全力を注ぎ約束を果たさなければなりません。

グローバル補助金のための現金寄贈とその他の寄付の目標は、前年度より350万ドル増となる3500万ドルです。

恒久基金の目標もあります。恒久基金へのご寄付はロータリーの未来のために投資されます。目標額は、寄付と誓約を合わせて7500万ドルです。

この恒久基金の目標は長期的な目標の一部で、ロータリーでは、年次基金とポリオプラス基金への支援を高めつつ、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルに成長させるという目標を立てています。皆さんのリーダーシップとご支援があれば、この大きな目標も達成できると私は確信しています。恒久基金は、今日と未来におけるロータリーの健全性を保つ大切な基金です。

合計で、2019-20年度の目標額は4億ドルとなります。大変なタスクとなりますが、ロータリアンの協力を得ることができれば、きっと達成できます。

私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

終わりに RLI について少しだけですが触れさせていただきます。

RLIは、1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において、元RLI理事デビット・リンネ氏の発案により自発的に立ち上がってきた研修プログラムであります。リーダーシップの研修を通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することを目的としております。

このように必然的な発案と必要性にロータリー世界における共通性を感じております。

RLIは、クラブで失ったロータリー情報機能を地区が変わって提供しているとするものであり、入会して何れクラブの役職などを務める3年～5年位のロータリアンにバランスの取れた情報提供を全員参加型で進める手法を基本と

しております。

参加者から高い評価を受け、現在世界全地区の 77%が参加しております。因みに日本に導入して 10 年が経過しましたが現在 24 地区が参加しており、3 地区が参加の意思表示と準備をしておりますので世界の水準と同じくなりました。

貴地区でも RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）初開催（12月21日）予定されていると聞いております

また、高野孫左衛門 PDG には、RLI 日本支部のファシリテーター副委員長として第 2 ゾーンを担当していただき、野口英一 PDG には地区代表委員をお勤めいただきしております。

ロータリーを大いに学び、大いに楽しもうではありませんか

Enjoy Rotary

ご清聴ありがとうございました。